

# 「人流データ」を使い、 タクティカルアーバニズムを実践する

～人流データを活用した地域課題解決等モデル事業 最終報告会～



We walk together.

昭和設計株式会社

令和4年3月10日

静岡市人流データを活用したまちづくりコンソーシアム

(静岡市、法政大学、I love しずおか協議会、静岡市中心市街地活性化協議会、昭和設計株式会社)



## ◇ 本日の内容

- I 取組の目的・背景
- II 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策
- III 「人流データ」の取得・分析手法
- IV 「人流データ」の取得・分析結果
- V これまでの成果・今後の取組

# I 取組の目的・背景

## 「人流データ」を使い、 タクティカルアーバニズムを実践する

### 《取組の背景》

- 静岡市では、近年**まちの空洞化や来街者の減少**により、まちなかの賑わいが失われている。
- これに対し、官民で様々な取組を行っているが、従来のまちづくりは**お金も時間もかかる**。
- 一方で、社会情勢も市民のニーズも移り変わりのペースが速い…。

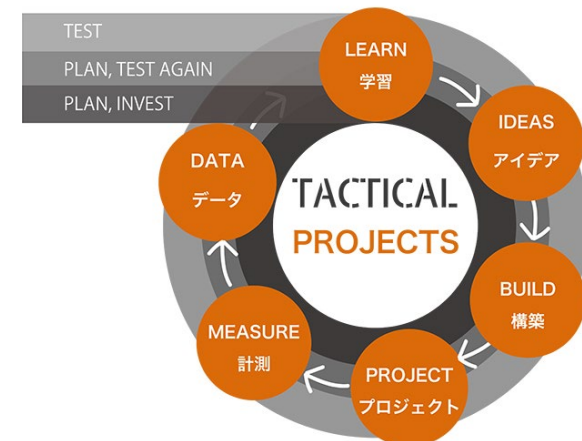
### 《タクティカルアーバニズムは》

- こうした状況に対応するため、**小さなアクションから始め、データを利活用した検証・検討を繰り返しながら、時代やニーズに柔軟に対応**するしなやかなまちづくりの手法。

### 《なぜ、タクティカルアーバニズムに人流データが有効か》

- 人流データは、**取組の効果を“広範”かつ“今までより簡易”に計測・分析**できる。
- このため、本取組では、産官学民の連携のもと、**人流データの取得・分析・活用を社会実装**していくことを目指している。

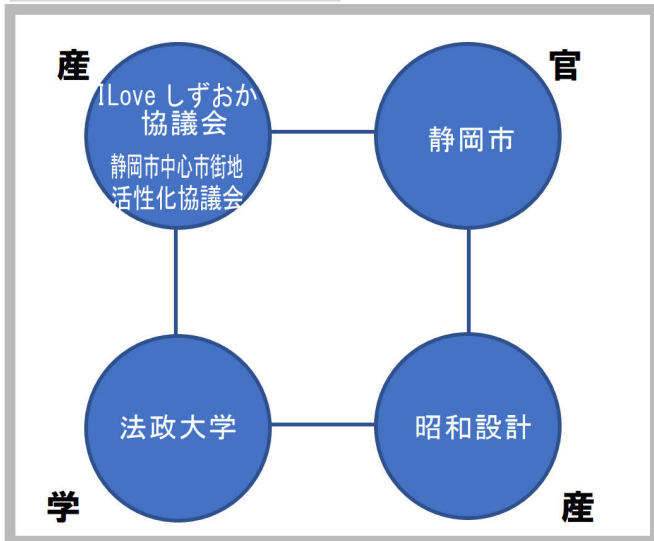
### ■ タクティカルアーバニズムのサイクル (出典：泉山壘威ほか『タクティカルアーバニズムvol6』)



# I 取組の目的・背景

## ■ 取組体制

コンソーシアム(構成主体)



連携主体①: 人流データの購入・機材レンタル等に係る民間企業

データ  
提供等

連携主体②: しずおか MaaS 基幹事業実証プロジェクト関係者

情報  
交換等

### 【I Love しずおか協議会 (以降、「ILS」) とは】

- ・静岡市中心市街地“おまち”を元気にするために、2012年に設立したまちづくり団体
- ・静岡市を中心に約500の企業・団体が所属し、賑わい創出のためのイベントや清掃美化活動、インバウンド事業等を実施

### 【静岡市中心市街地活性化協議会 (以降、「中活協」) とは】

- ・中心市街地の活性化を目的に、静岡商工会議所、(公)静岡市まちづくり公社が設置した協議会
- ・中心市街地活性化基本計画の作成や、計画に基づく施策実施に関し、必要な事項を協議



\* 取組メンバーの詳細は、最終頁記載

## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### (1) 対象地域：静岡中心市街地

(= 静岡市立地適正化計画の都市機能誘導区域)

(≡ 静岡市中心市街地活性化基本計画の対象区域)

【呉服町通り】



【札ノ辻】



【七間町】



【けやき通り】



【青葉シンボルロード】



【静岡駅北口地下広場】

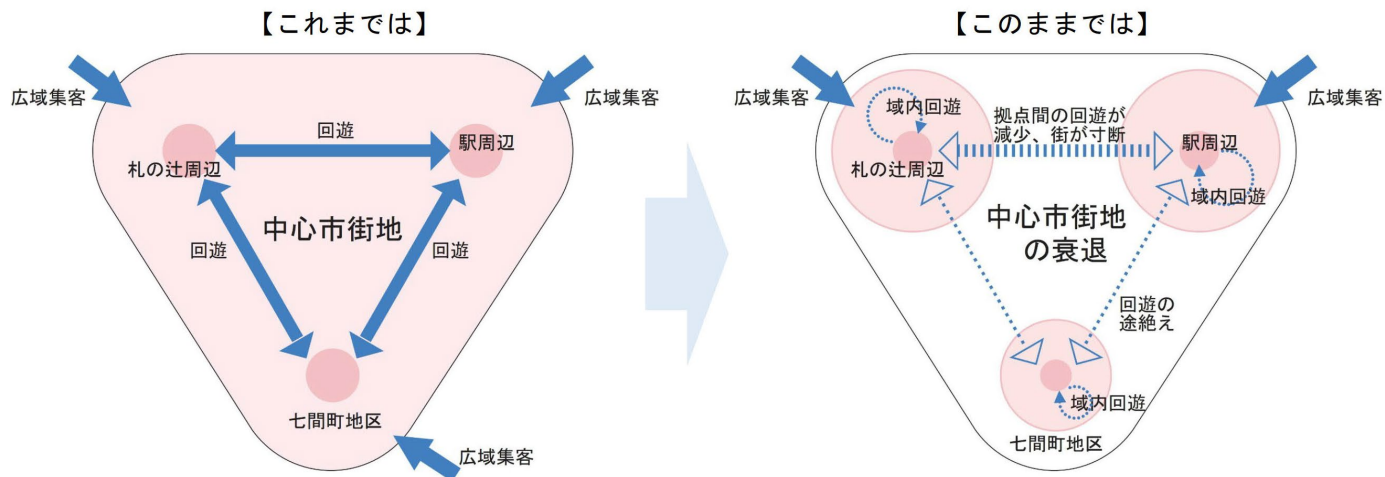


## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### (2) 地域課題

### 静岡中心市街地の空洞化と回遊の減少

- 静岡中心市街地は、いくつかの「ゾーン」と、その間の「回遊」により形成され、これまではその魅力で、広域から集客してきた。
- 近年、ゾーンの中心を担う商業機能の撤退や機能転換により、ゾーンの魅力や個性が減少している。また、ゾーン間の回遊に寄与していた商店街の魅力も減衰しはじめている。
- こうした街の動向や社会情勢の変化により、毎年、静岡商工会議所が行っている来街者調査では総交通量が減少している。空き店舗も増加傾向にある。
- ゾーン間の回遊の減少により、ゾーン毎の来街者属性に偏りが見られ、将来的に、中心市街地がますます衰退することが懸念される。

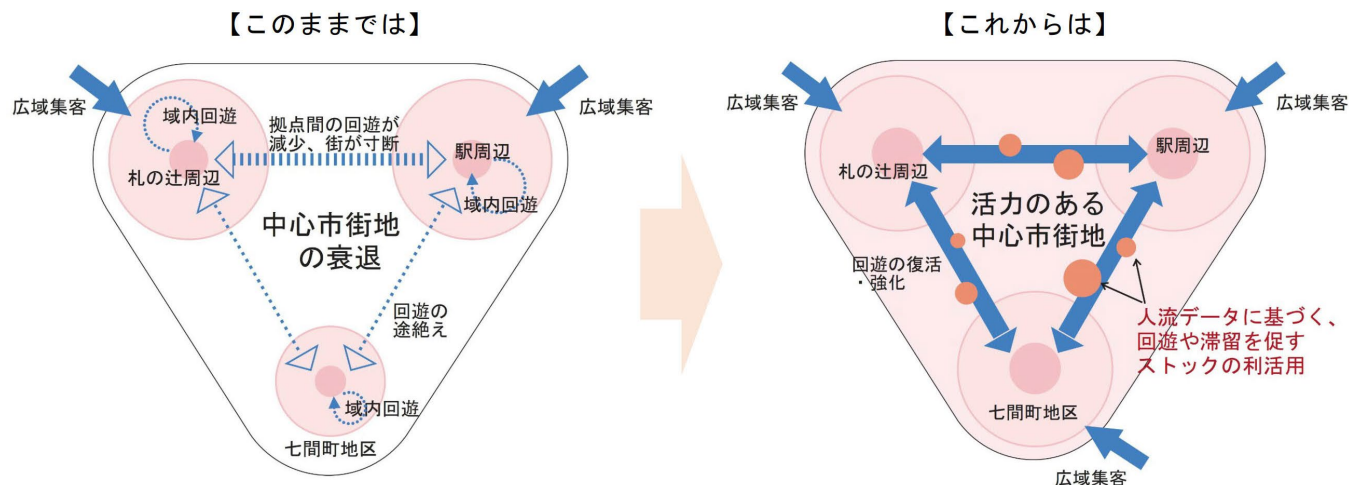


## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### (3) 解決方策

# 『人流データに基づく適切なストック利活用』により改善

- 中心市街地の課題に対し、これまで蓄積してきた道路・公園等の公共空間や空き店舗等の豊富なストックを使い、**官民が連携し『ウォーカブルなまちづくり』を進める。**
  - そのために、本事業では、**「人流データ」を用い、ストックを活用したソフト施策・ハード施策を、その効果を計測・評価しつつ段階的に実施できるようにすることを目指す。**
- \* 1 従来の手動カウント調査では、施策実施箇所の歩行者交通量など局所的な効果しか計測できなかったことから、イベント等の街への効果を広範に計るためには、回遊・滞留・ゾーン間の動き等を推測できる「人流データ」が極めて有効
- \* 2 社会情勢の変化が激しく、市民ニーズの変化も大きい時代にあって、恒久的な公共空間の改変や歩行者利便増進道路等の制度導入の前に、『タクティカルアーバニズム』の考え方で、ストックや制度の使い方・使い勝手を何度も試し、効果を評価・計測したうえで実装することが有効

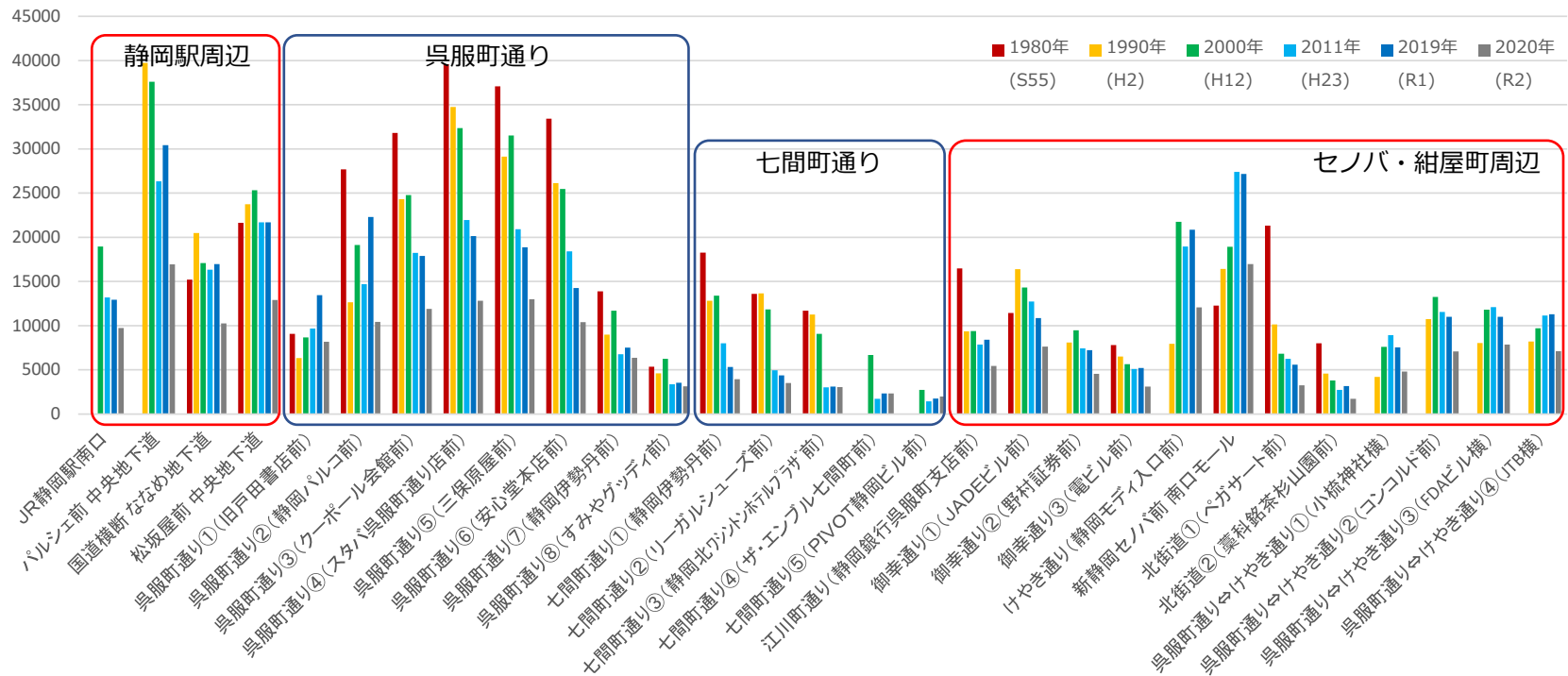


## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### 《静岡中心市街地の概況①： 歩行者交通量の推移》

- 静岡駅周辺・新静岡駅（セノバ・紺屋町）直近は、維持・増加傾向
- 一方、呉服町通り、七間町通りは、著しい減少傾向
  - ・ 1980年からの40年で、呉服町通りは半減、七間町通りは1 / 3に減少

### ■ エリア・通り別・10年ごとの歩行者交通量推移 (出典：静岡商業会議所通行量調査／毎年11月最終日曜実施)



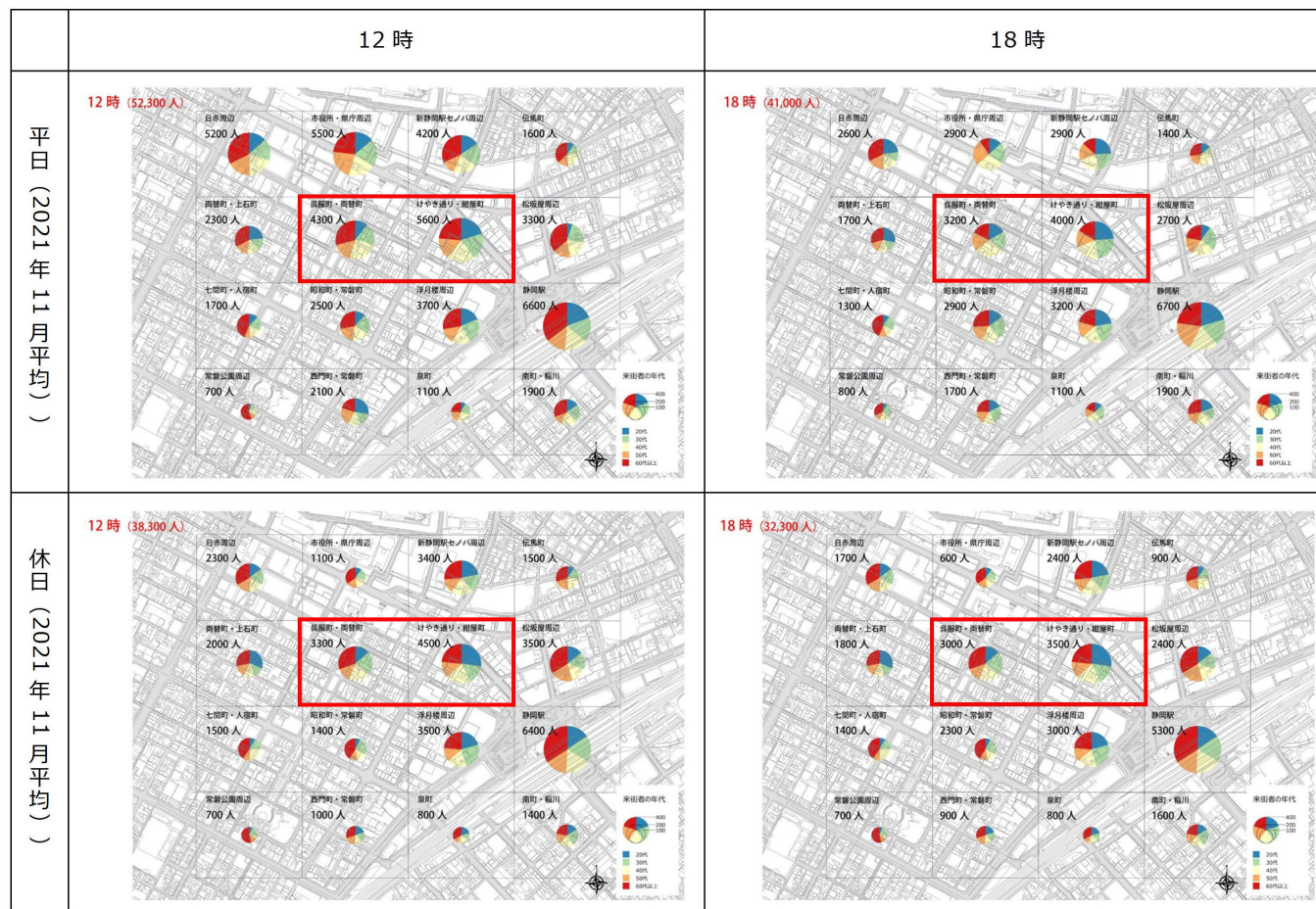


## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### 《静岡中心市街地の概況②： 来街者の年代構成》

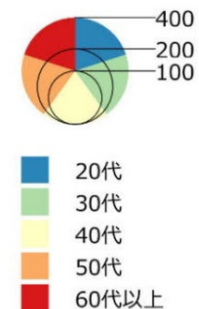
○ 駅前（けやき通り・紺屋町）に比べ、呉服町では、20代が概ね半分になる。

### ■ KDDI社・KLDデータによる滞在・移動人口の年代構成



人流データ（本事業で取得）により、来街者の属性を「見える化」

来街者の年代



## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### 《静岡中心市街地の概況③： 来街者の居住地》

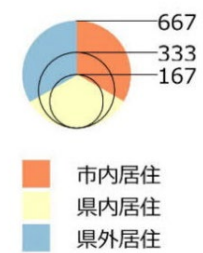
○ 駅前（けやき通り・紺屋町）に比べ、呉服町では、市外からの来街者が概ね半分になる。

### ■ KDDI社・KLDデータによる滞在・移動人口の居住地



人流データ（本事業で取得）により、来街者の属性を「見える化」

来街者の居住地



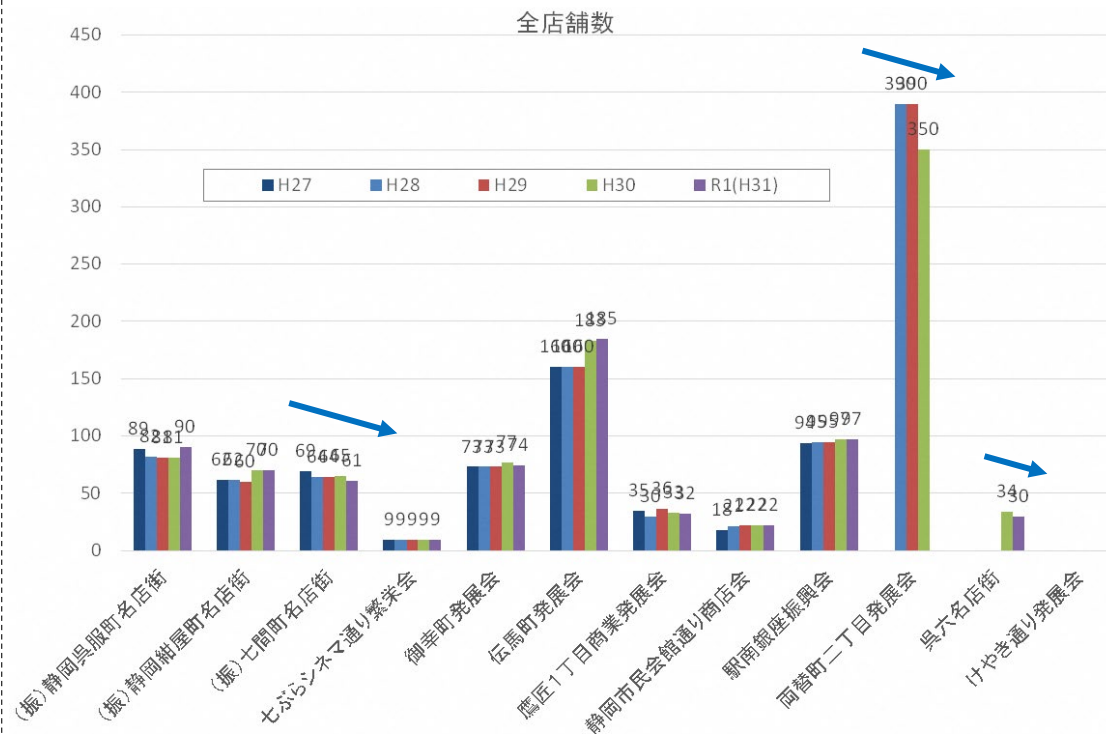
## II 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### 《静岡中心市街地の概況④： 商店街店舗数の推移》

- 七間町名店街、両替町2丁目発展会、呉六名店街では近年店舗数が減少傾向
- 空き店舗が増えることで、間口の狭い個店が立ち並び、にぎわいを感じる要素が損なわれてしまう懸念

### ■ 静岡中心市街地の商店街別の店舗数推移

(出典：静岡市提供データ)



### ■ 間口の狭い個店が並ぶ商店街



## Ⅱ 地域課題と「人流データ」を用いた解決方策

### 《静岡中心市街地の概況⑤： まちなかのにぎわいづくりに係る取組》

- 官民が連携し、まちなかの公共空間等を使い、にぎわいづくりに取り組んでいる。
- 一方で、これまでその効果計測は、施策実施箇所の歩行者交通量など限定的だった。



### Ⅲ 「人流データ」の取得・分析手法

#### (1) 「人流データ」の取得・分析内容

人流データに基づき、適切にストックを利活用するために、

- ① 「人流データ」で、社会実験やイベントによる「街への波及効果」を“広範”かつ“高い精度”で分析
- ② 「人流データ」と「土地利用・不動産情報」を重ね合わせ、「街の特性」を分析

### Ⅲ 「人流データ」の取得・分析手法

#### (2) 取得する「人流データ」

「人の量」、「滞在時間」、「属性」、「回遊」、「移動速度」を計数

- ① 中心市街地の要所に、Wi-Fiパケットセンサを設置し、ポイントの「人の量」、「滞在時間」、ポイント（ゾーン）間の「回遊」、「移動速度」を計測
- ② 手動計測とカメラの画像解析で、①「人の量」を補正し、これをもとに「回遊」量も補正
- ③ 携帯電話位置情報で、「属性（性別・年代）」を把握し、①に反映

取得する人流データ	人流データの取得方法				
	A Wi-Fi パケットセンサを設置		B カメラを設置し、画像解析	C 携帯電話位置情報で、メッシュ内人口の属性を計測	D 人員を配置し、手動計測やアンケート調査
	Wi-Fi パケット計測	Wi-Fi パケットID追跡			
ポイントの「人の量」	○		◎	○	◎
ポイントの「滞在時間」	◎				
属性（性別・年代）			△	◎	△
ポイント間の「移動速度」		○		△	
ポイント間・ゾーン間の「回遊」		◎		△	

【凡例】◎：主用途、○：補完用途、△：試行（適用可能性を検証）

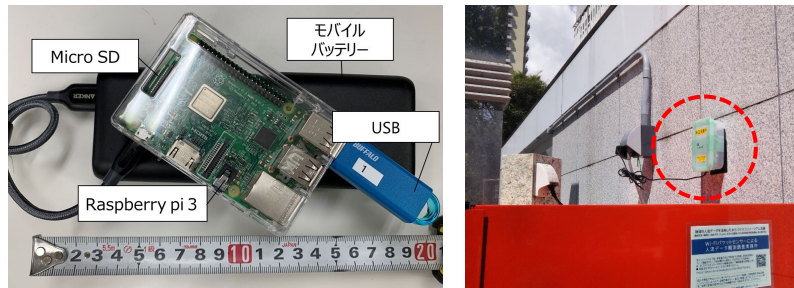
\*「ポイント」は、社会実験・イベント実施箇所や、その周辺および交通発生源となる駅や交差点等

# Ⅲ 「人流データ」の取得・分析手法

## 【データ取得箇所等の詳細】

### ① Wi-Fiパケットセンサ

- 中心市街地の要所40箇所に、Wi-Fiパケットセンサを設置し、計測



### ② 歩行者交通量（カメラ画像解析）

- Wi-Fiパケットセンサと比較可能な数箇所に、カメラを設置し、計測

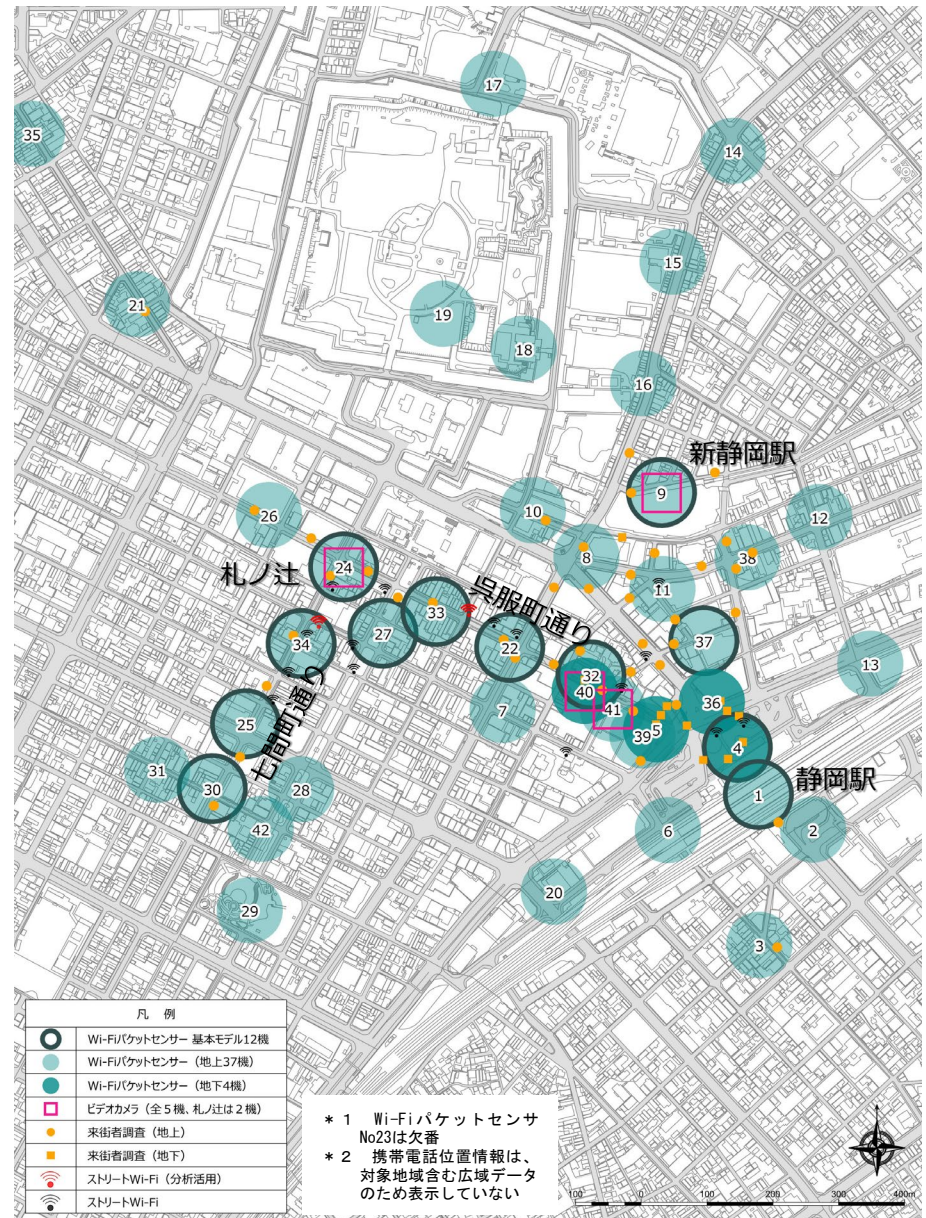


### ③ 携帯電話位置情報

- 主要箇所のWi-Fiパケットセンサ周辺の性別・年代別の割合等が分かるデータを購入

### ④ 歩行者交通量（手動計測）

- 静岡商工会議所が毎年11月に実施する来街者調査結果を活用（\*当事業とは別途実施）

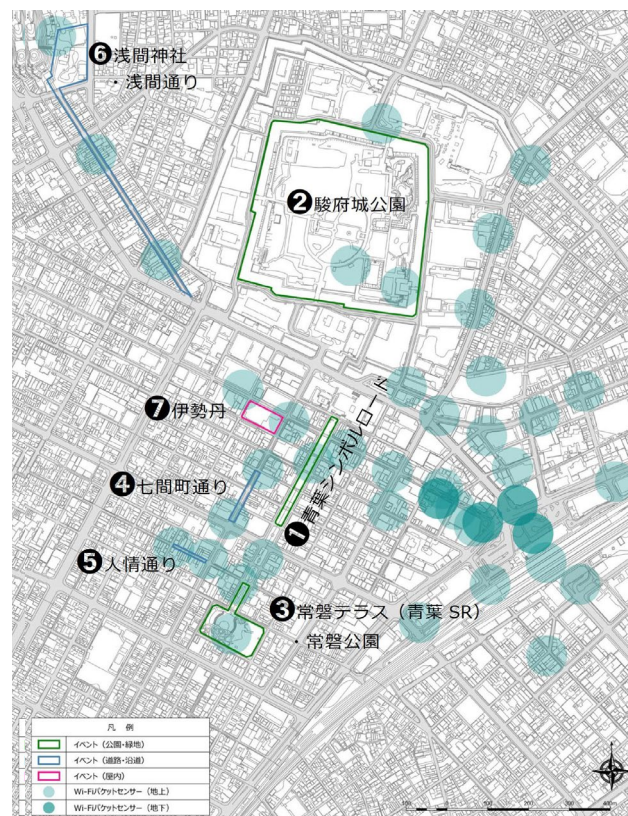


# Ⅲ 「人流データ」の取得・分析手法

## ■ 実験スケジュールとイベント (丸番号は、右図の番号に対応)

	R3						R4
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月
プレ実験①	⑦伊勢丹備事 ④七間町 青空市 ⑥浅間神社 安倍市						
プレ実験②		● 緊急事態宣言下のため イベント無し					
本実験①			●				
本実験②					①SHIZUOKA One heart days ④シズオカ×カンヌウィーク		
本実験③			常磐公園マルシェ・常磐テラス③ (この後、事例紹介)		④七間町青空市 ⑤人情通り人情祭り		

## ■ 実施箇所



## ■ 街を舞台に行われたイベントの様子





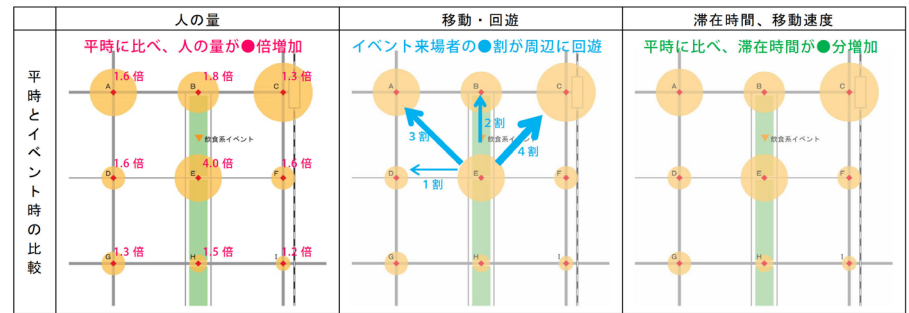
# IV 「人流データ」の取得・分析結果

① Wi-Fi パケットセンサで取得した人流データで、社会実験やイベントによる「街への波及効果」を把握・見える化することができた。

## 【分析手法】

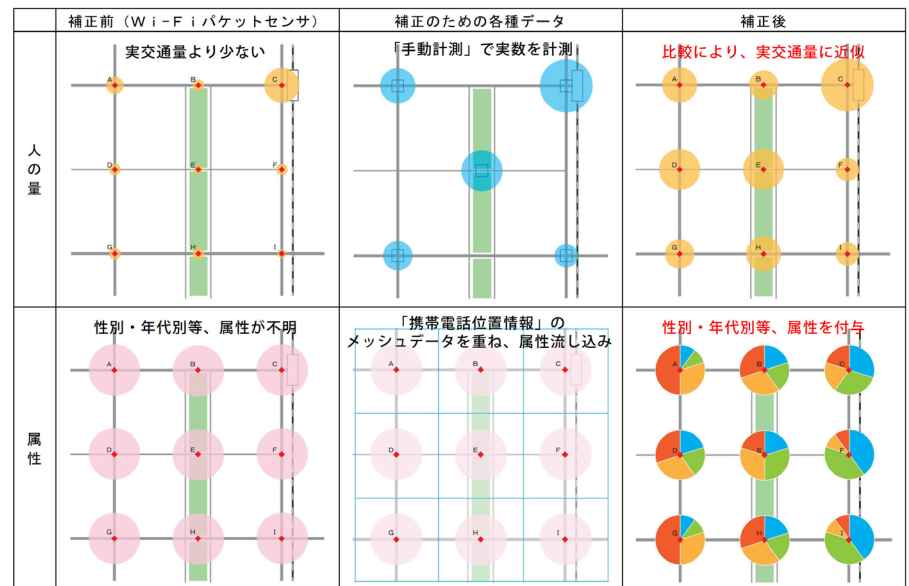
ア Wi-Fi パケットセンサで、平時、イベント時の「人の量」、「回遊」、「滞在時間」、（+「移動速度」）を計測・比較

■ “平時”と“社会実験・イベント時”における、「人流データ」の計測と比較イメージ



イ Wi-Fi パケットセンサによるデータをカメラ画像解析、携帯電話位置情報および手動計測と組み合わせ、補正・検証

■ Wi-Fi パケットセンサで取得する「人流データ」を、その他調査と組み合わせ、補正するイメージ



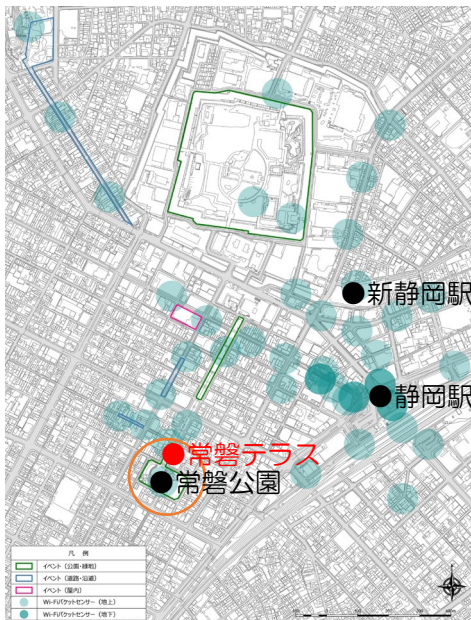
ウ 社会実験・イベントの効果を“広範”かつ“高い精度”で計る手法を確立

# IV 「人流データ」の取得・分析結果

## 【効果計測の例：青葉シンボルロード南端に、「常磐テラス」を整備】

- 場所は、老朽化し、平時の低未利用が課題になっている青葉シンボルロード
- 地元町内会・商店街の意向で、**居心地を高めるベンチ・デッキを実験的に設置** (R3.11～)
- 隣接する常磐公園で月1で開催される朝市に併せ、イベントも実施

### ■ 実施箇所



### ■ 設置した施設・利用状況



### ■ 常磐テラス利用を促すチラシ

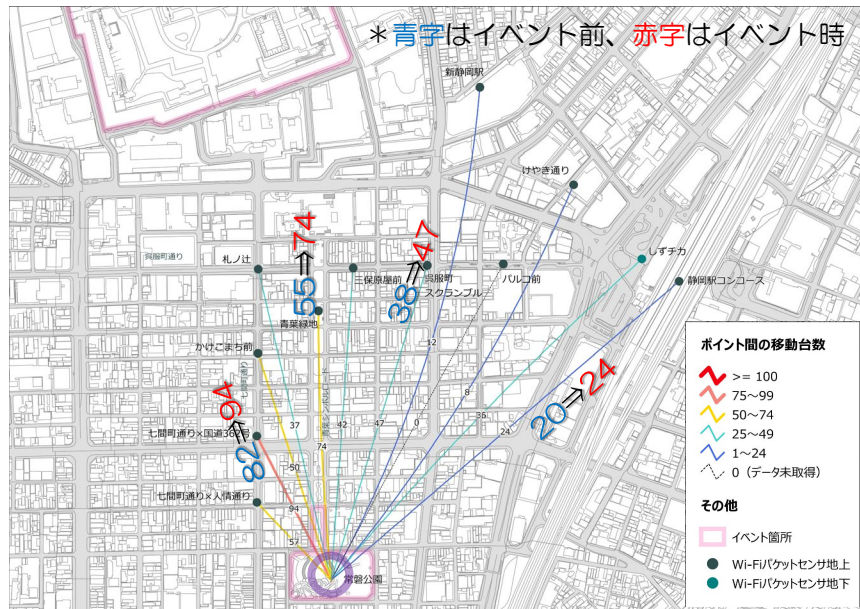
Two promotional flyers for Joze Terrace events. The top flyer is for an indoor exhibition (『常磐テラス』内覧会) held on November 14th (Sunday) from 8 AM to 12 PM. It features a large display of balloons and a performance by a street artist. The bottom flyer is for an event on November 12th (Friday) at 7:40 PM, featuring a light installation and a performance by a hand-puppet troupe. Both flyers include details about the location (Joze Terrace, C3 Block) and the organizing committee.

# IV 「人流データ」の取得・分析結果

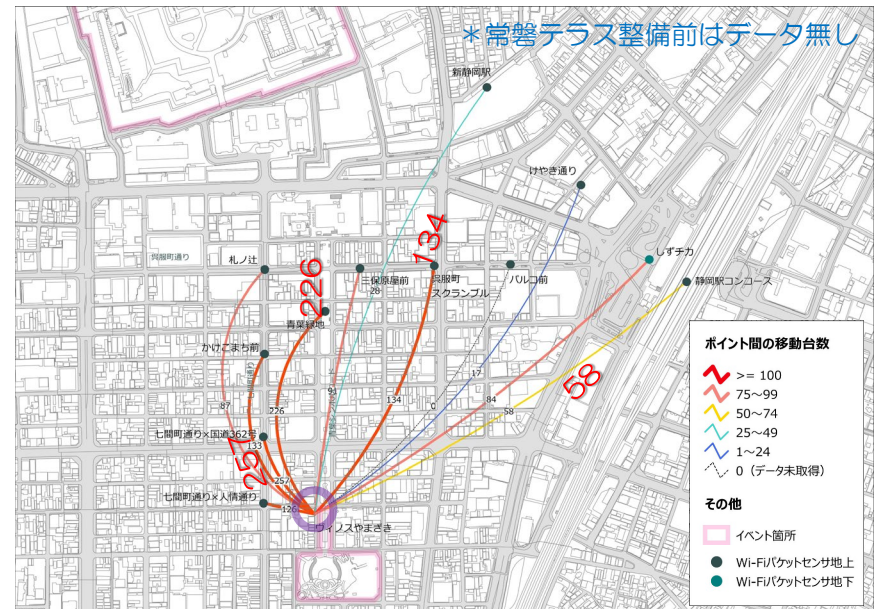
## 【社会実験・イベントによる効果①： イベント実施箇所と街中との回遊が増加】

- 常磐公園では、イベント時に、街中との回遊が約1.3倍増加
- 常磐テラスでは、常磐公園に比べ、街中との回遊が2倍以上
- 後者は、常磐テラスにより公共空間の居心地が高まったことに加え、隣接地に飲食店ができたことによる効果と推察

■ 常磐公園と街中との回遊（11月14日 常磐朝市）



■ 常磐テラスと街中との回遊（11月14日 常磐テラス内覧会）

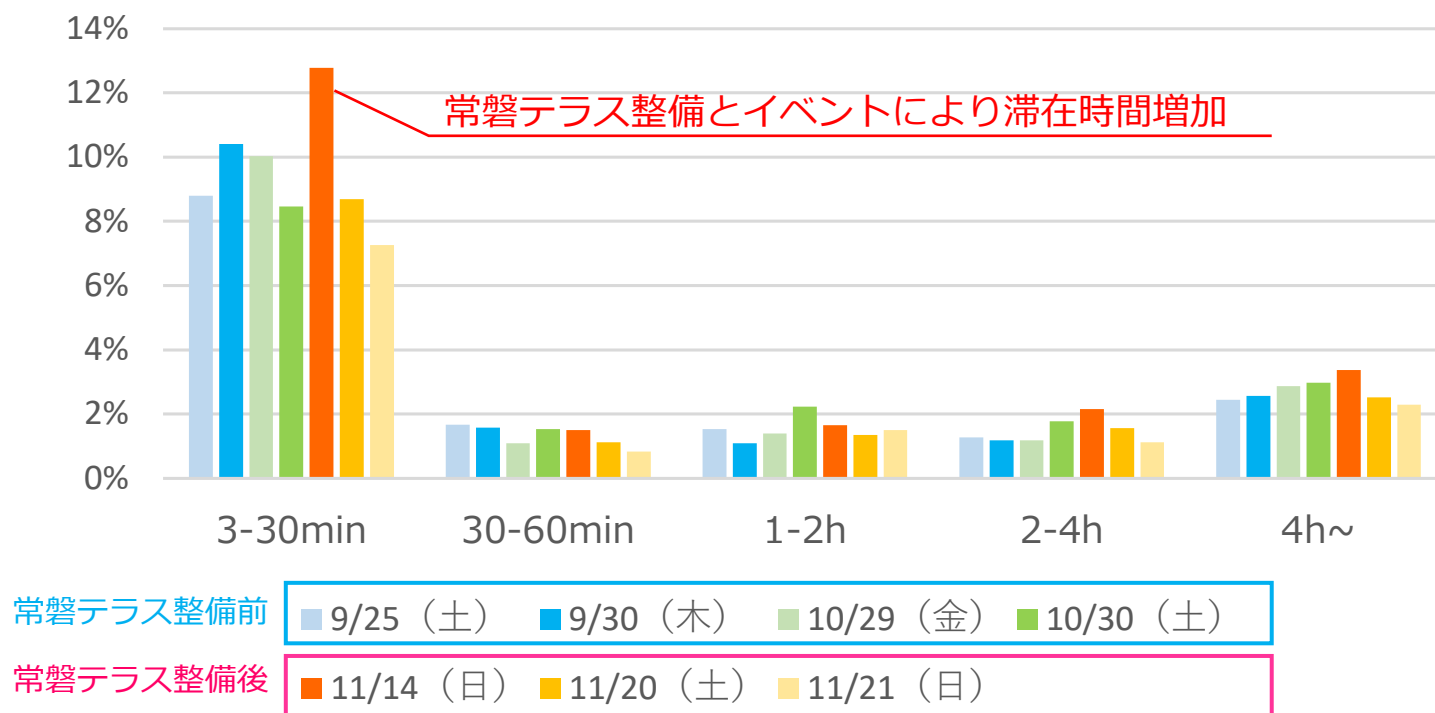


## IV 「人流データ」の取得・分析結果

【社会実験・イベントによる効果②： 来場者の滞在時間が増加】

- 常磐公園は屋外であるため、寒くなるにつれ滞在時間は減少する傾向
- 一方、イベントを実施した11/14（日）の滞在時間は、3-30分の割合が増加

■ 常磐公園の滞在時間（11月14日 常磐朝市、0-3分の通過者以外をグラフ表示）



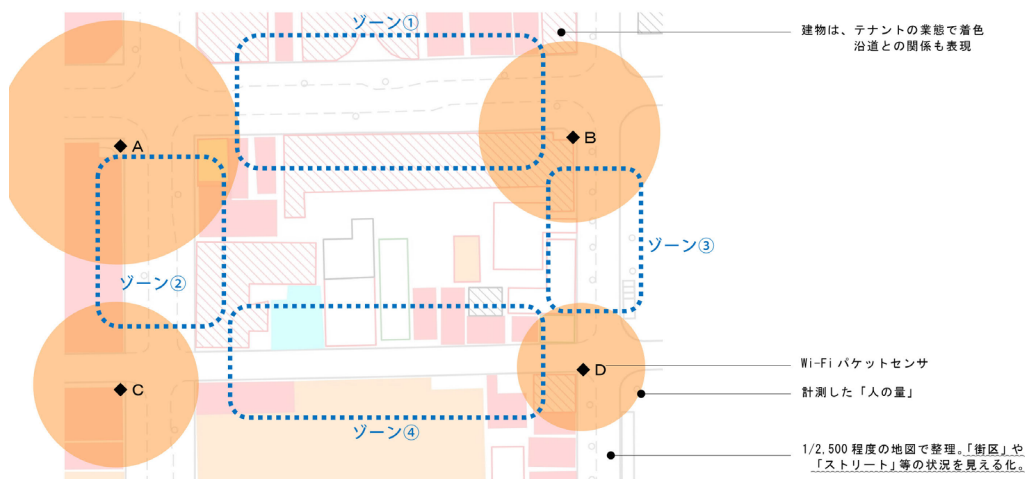
### Ⅲ 「人流データ」の取得・分析手法

② 「人流データ」と「土地利用・不動産情報」を重ね合わせ、「街の特性」を分析することができた。

#### 【分析イメージ】

- ア 中心市街地の店舗業態、街区形態、空き店舗、賃料、路線価等の「土地利用・不動産情報」を整理
- イ 「人流データ」と「土地利用・不動産情報」を重ね合わせることで、「街の特性」を分析
- ウ ア・イをGIS上で整理し、「街の特性」が見える化。また、更新しやすいデータとして構築
- エ 「人流データ」を用い、「街の特性」を計る手法を確立

■ 「人流データ」と「土地利用・不動産情報」の重ね合わせイメージ



■ ゾーンごとの「人流データ」と「土地利用・不動産情報」の比較イメージ

ゾーン	人流データ				土地利用・不動産情報							
	人の量 (平日)			属性 (性年代別)	ポイント間の 移動速度	テナント (うち、チェーン店)				平均賃料 /月	空き 物件	路線価
	8時	12時	15時			飲食	物販	サービス	その他			
①	A+B	A+B	A+B		A-B間	5 (1)	10 (2)	3	5		0	100万円
②	A+C	A+C	A+C		A-C間						1	80万円
③	B+D	B+D	B+D		B-D間						1	60万円
④	C+D	C+D	C+D		C-D間						3	40万円

# IV 「人流データ」の取得・分析結果

【中心市街地にゾーンを設定し、ゾーンごとの人流や不動産情報を整理】

	駅からの距離 (m)	表通りの延長 (m)	歩行者断面交通量 (人)	静岡駅からの交通量 (駅交通量に対する比)	通過者の滞在時間の割合								活動量 (交通量×滞在時間)
					(Wi-Fi)								
					0-3min	3-10min	10-30min	30-60min	1-2h	2-4h	4-8h	8-12h	
紺屋町	400	70	18,000	4.7%	87.6%	5.0%	2.9%	1.4%	1.0%	0.9%	0.5%	0.8%	3,486
呉六	500	85	20,000	4.5%	88.4%	4.6%	2.6%	1.2%	1.0%	0.9%	0.5%	0.8%	3,876
呉服町①	600	80	19,000	3.1%	88.2%	4.7%	2.7%	1.2%	0.7%	0.7%	0.8%	1.0%	4,294
呉服町②	700	80	14,000	2.2%	84.4%	5.1%	3.6%	2.1%	1.7%	1.4%	0.8%	1.0%	3,820
七間町①	800	90	5,000	1.6%	87.9%	3.8%	2.5%	1.5%	1.3%	1.1%	0.7%	1.2%	1,291
七間町②	900	90	4,000	1.0%	92.4%	2.2%	1.2%	0.6%	0.8%	0.8%	0.7%	1.3%	971
七間町③	1,000	90	3,000	0.8%	93.0%	1.9%	1.3%	0.9%	1.0%	0.9%	0.4%	0.7%	526

	来街者属性・平日12h								来街者属性・休日12h							
	年代					居住地			年代					居住地		
	20代	30代	40代	50代	60代~	市内	県内	県外	20代	30代	40代	50代	60代~	市内	県内	県外
紺屋町	1,140	1,112	1,156	891	1,326	4,319	1,112	194	1,234	706	891	612	1,060	2,991	1,275	238
呉六	697	889	1,127	780	1,282	3,911	741	121	727	719	759	502	1,032	2,676	879	183
呉服町①	469	774	1,111	723	1,259	3,702	550	84	466	726	691	446	1,017	2,514	675	155
呉服町②	471	777	1,111	727	1,259	3,708	554	84	463	721	687	444	1,012	2,501	671	155
七間町①	476	724	1,026	680	1,201	3,516	512	79	482	672	644	429	966	2,423	624	146
七間町②	523	379	434	380	805	2,224	250	46	599	300	322	312	611	1,791	271	82
七間町③	362	318	311	227	734	1,665	256	32	357	245	309	221	570	1,445	181	75

	賃料 (万円/坪)	路線価 (千円)	建物利用 (件)						店舗密度 (物販飲食/通り延長)
			物販	飲食	業務事務所	住戸	その他	空き店舗	
紺屋町	2.5~3.0	1,057	14	8	2	3	15	6	31.4%
呉六	2.5~3.0	1,057	19	11	1	0	12	9	35.3%
呉服町①	2.0~2.5	987	15	11	9	0	9	5	32.5%
呉服町②	1.5~2.0	868	21	8	14	1	6	10	36.3%
七間町①	1.0~1.5	615	8	1	12	33	11	5	10.0%
七間町②	1.0~1.5	572	11	6	16	18	8	8	18.9%
七間町③	1.0~1.5	490	7	8	5	149	13	7	16.7%

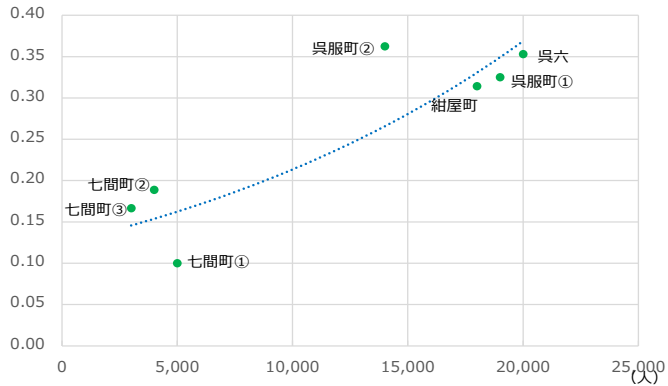


# IV 「人流データ」の取得・分析結果

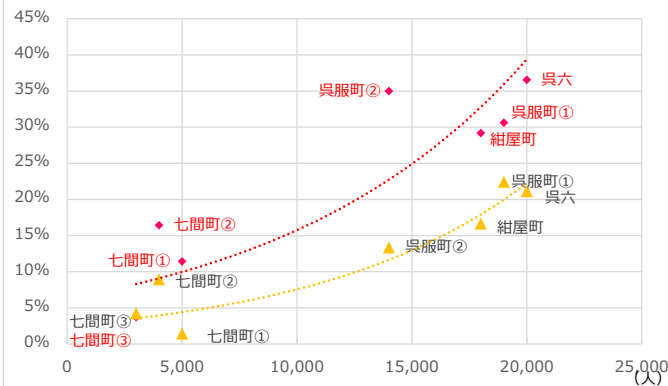
【歩行者交通量と飲食物販店舗の密度・割合、及び賃料・路線価は「相関関係」にある。】

⇒ 歩行者交通量を増やす取組ができれば、物販・飲食店舗が増え、建物の賃料や路線価があげられる。

歩行者交通量と物販・飲食店密度

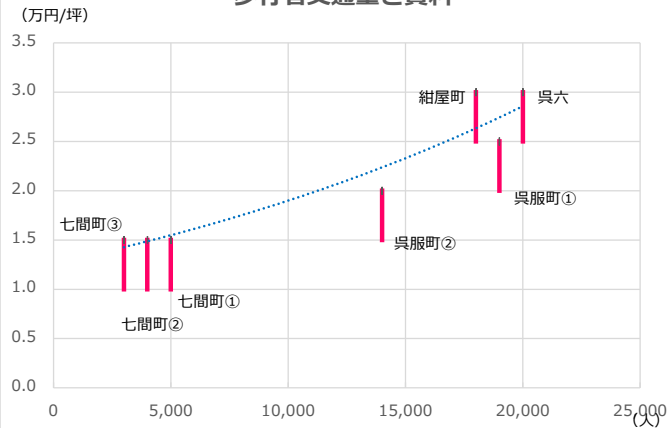


歩行者交通量と物販・飲食店舗の割合

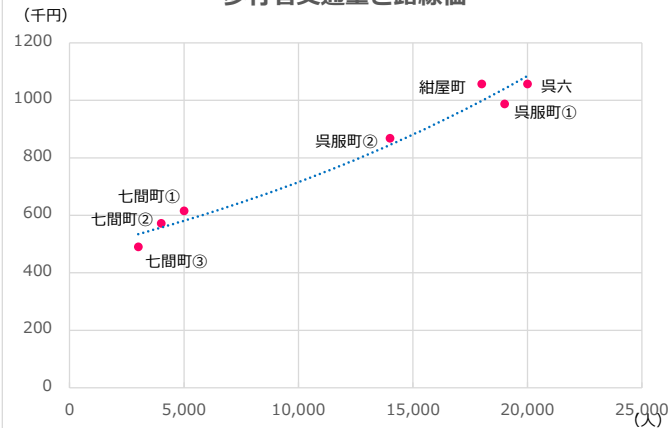


歩行者交通量が多いゾーンほど、飲食・物販店舗の密度・割合が高い。

歩行者交通量と賃料



歩行者交通量と路線価

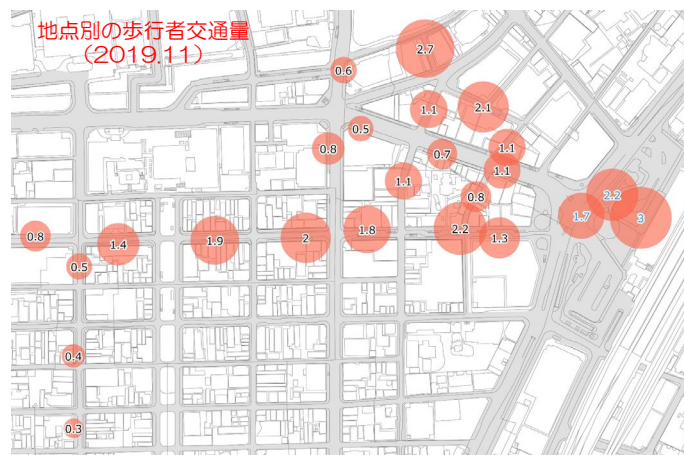
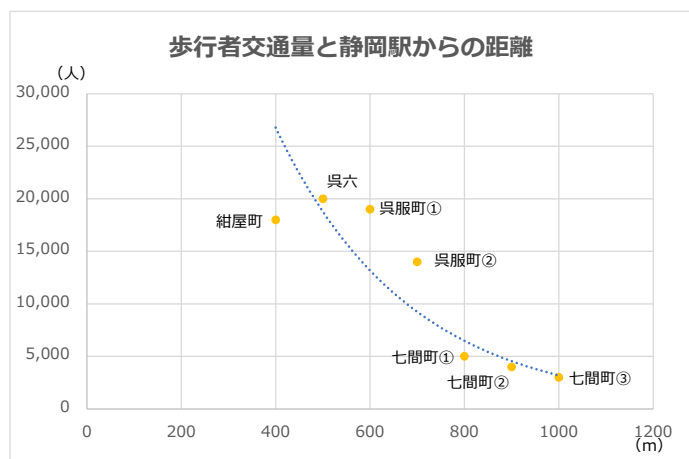


歩行者交通量が多いゾーンほど、賃料・路線価が高い。

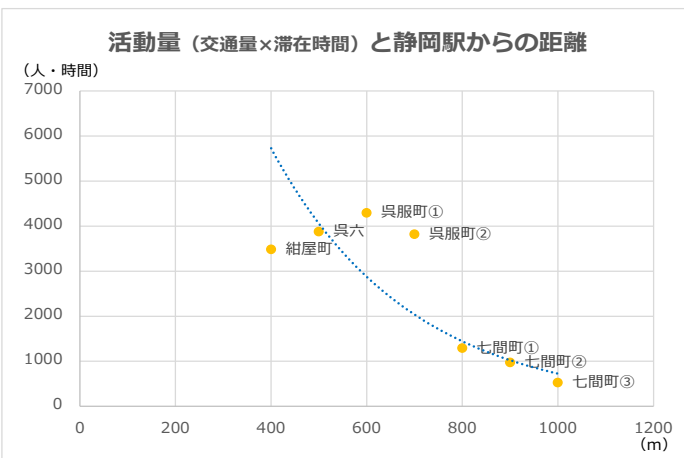
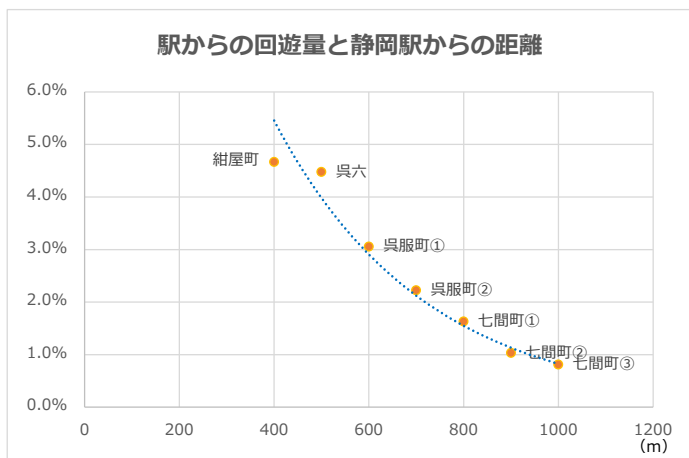
# IV 「人流データ」の取得・分析結果

【静岡中心市街地では、原則、歩行者交通量と駅からの距離は「相関関係」にある。】

⇒ 駅から遠いエリアでは、街の魅力を高め、交通量を増やし、不動産価値を高めることは困難か？



静岡駅から近いほど、歩行者交通量が多い。



静岡駅から近いほど、駅からの回遊量・通りの活動量 (交通量×滞在時間) が多い。

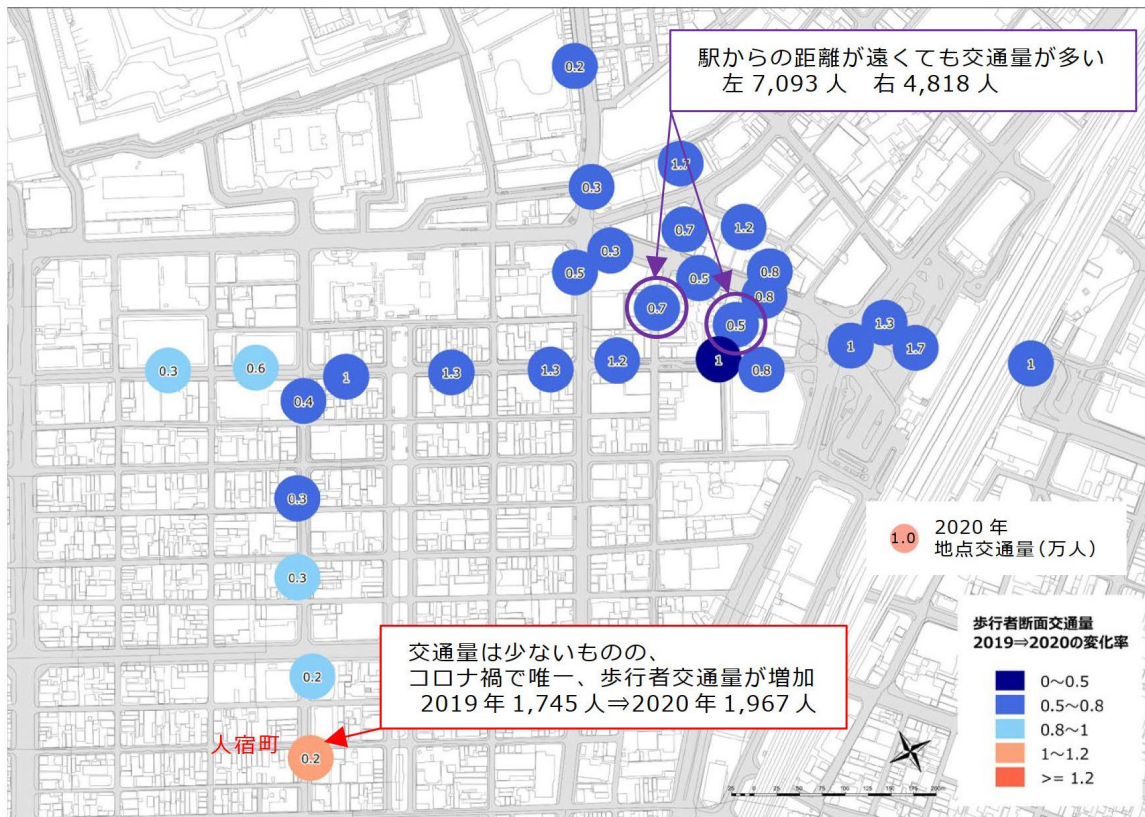


# IV 「人流データ」の取得・分析結果

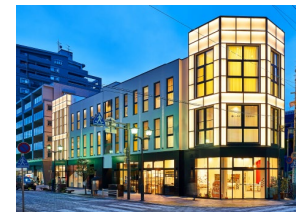
【駅から遠くても、交通量・賃料が上昇している場所もみられる。】

⇒ 駅から遠いエリアでも、魅力を高めることで、歩行者交通量を増やす（①駅からの回遊を増やす、あるいは②駅以外からの新たな人の流れをつくる）ことができ、また不動産価値を高めることができるのではないか。

## ■ 2019年と2020年（コロナ禍）の歩行者交通量比



近年、個性的なまちづくりを展開している人宿町は、**コロナ禍にもかかわらず、歩行者交通量が前年と比べ唯一増加している。**



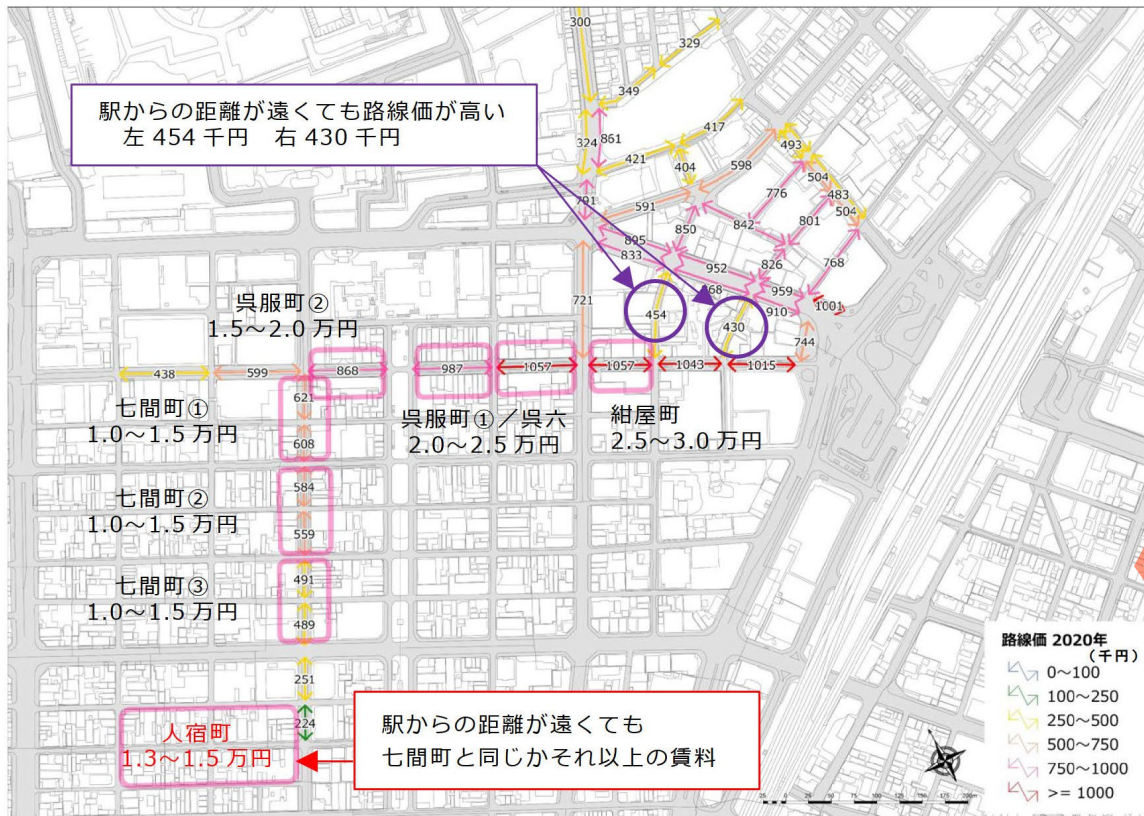
写真出典：DESIGN  
OFFICE SOZOSYA HP

# IV 「人流データ」の取得・分析結果

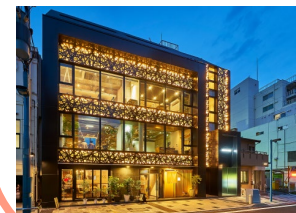
【駅から遠くても、交通量・賃料が上昇している場所もみられる。】

⇒ 駅から遠いエリアでも、魅力を高めることで、歩行者交通量を増やす（①駅からの回遊を増やす、あるいは②駅以外からの新たな人の流れをつくる）ことができ、また不動産価値を高めることができるのではないかな。

## ■ 2020年の路線価とゾーン別の賃料（建物1階部分）



人宿町では、賃料も七間町通りと同じか、それ以上となっている。

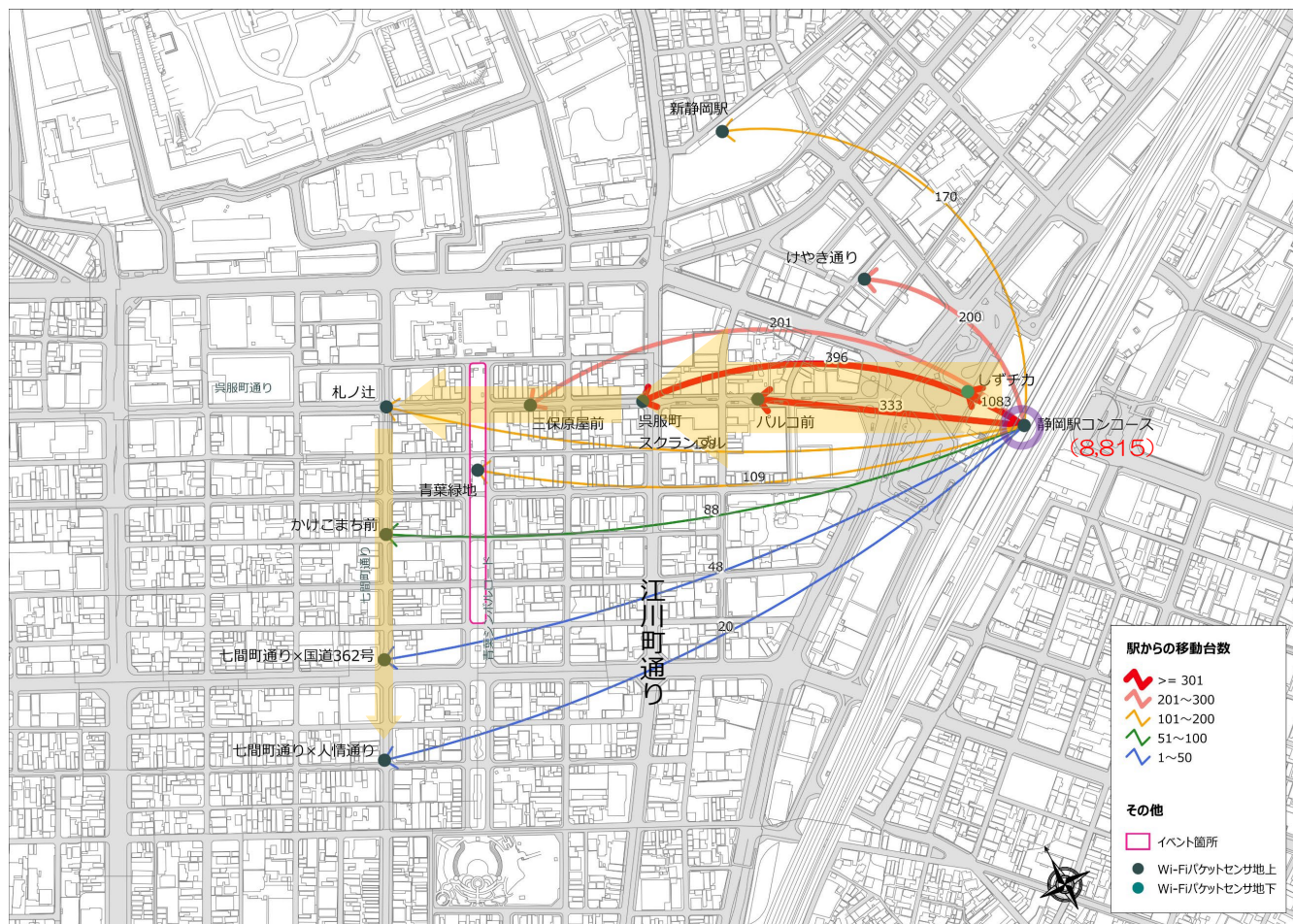


写真出典：DESIGN OFFICE SOZOSYA HP

## IV 「人流データ」の取得・分析結果

### 【静岡駅から、まちのどこまで移動しているか】

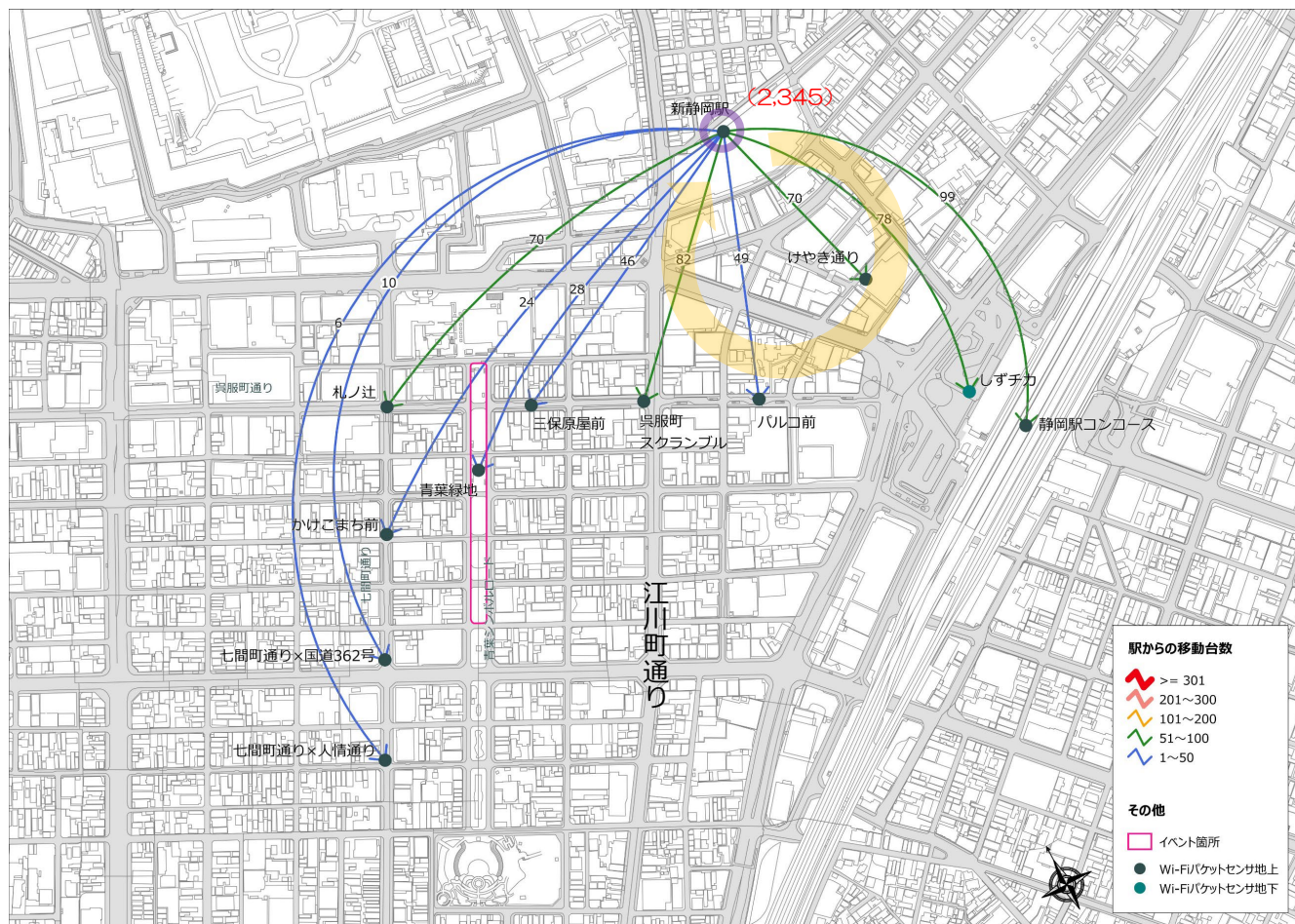
- 静岡駅からの回遊は、江川町通りを越える、札ノ辻を曲がる等で、段階的に減少
- 人宿町は、駅以外からの新しい人の流れをつくっているのではないか？



## IV 「人流データ」の取得・分析結果

### 【新静岡駅から、まちのどこまで移動しているか】

- 新静岡駅からの回遊は、江川町通りより東側（静岡駅・パルコ周辺）が多いか。
- 人宿町は、駅以外からの新しい人の流れをつくっているのではないか？



- \* 1 : 図中の（赤数字）は、駅など主要ポイント（ゾーン）における、移動や滞在を追える観測台数24時間（重複するMACアドレス削除）計
- \* 2 : 左図の調査日は、2021年10月29日（金）、青葉シンボルロードでイベント実施
- \* 3 : 実験を行った7~11月のいずれも類似的傾向

## V これまでの成果・今後の取組

○ 今まで「感覚で〇〇だろう」と推察していた中心市街地周辺の課題を、「人流データ」により確認することができた。また、「人流データ」で街中の人の動きを見える化したことで、関係者が街の課題について共通認識を持ち、議論するきっかけができた。

- ・ 静岡駅・新静岡駅からの歩行者の回遊は、江川町通りを境に減少する。
- ・ 駅周辺・札ノ辻周辺・七間町映画館周辺で、来街者の属性が異なる。

○ こうした街中の課題を踏まえ実施した、公共空間を活用した社会実験等の効果を「人流データ」で把握する見込みができた。

- ・ イベント実施、居心地を高める公共空間の整備、魅力的な飲食店舗の立地により、街中の回遊や滞在時間が増加している。
- ・ 各種人流データの組み合わせにより、Wi-Fi/パケットセンサで取得したデータに、量の補正や属性の付与をすることで、社会実験・イベントの効果をより丁寧に把握できる。

○ これまでの分析結果を踏まえ、今後も「人流データ」を以下に使うことを考えている。

- ① 公民連携による効果的なイベントの実施
- ② 都市政策への反映・公共空間の改変
- ③ 不動産の適正利用を促進

# V これまでの成果・今後の取組

【3月に追加の社会実験を行い、その際の人流を計測予定】

## ① 公民連携による効果的なイベントの実施

⇒ 3/19に、七間町で青空市を実施

- 以下を目指し、いつもの飲食店等の出店に加え、車道に人工芝を敷き、**コト消費を促すようなイベント実施**

- … 駅からの回遊を増やす、あるいは駅以外からの新たな人の流れをつくる
- … 街中との回遊に加え、滞在時間も増加させる
- … 未来の街のファンとなる、子育て世代を呼び込む 等

## ② 都市政策への反映・公共空間の改変

⇒ 3/13に、常磐テラスで社会実験を実施

- 以下を考え、常磐テラスに隣接する**車道を通行止めし、イベント利用**（花屋、似顔絵かき等）

- … 公園と沿道を一体的に利用した際に人流がどう変化するか
- … 車を進入禁止した場合に、歩行者の行動がどう変わるか 等  
（ビデオカメラによるアクティビティ調査も併せて実施）

## ③ 不動産の適正利用を促進

⇒ 2月末にオープンした集客施設による効果を計測

- **まちの変化のタイミング**（民間施設のオープン等）で街中の人流がどう変化するかを、以下の観点で計測

- … 駅からの回遊に変化はあるか
- … 来場者は、どこから来てどこに行っているか
- … 七間町通りでの滞在時間は増えているか 等

青空市×みちあそび案 3月

- ★ 3月19日(土)11時～14時(青空市は17時まで)  
雨天時はコミュニティホール七間町ギャラリー
- ★ アルティエ前ブロック
- ★ 人工芝と看板かのぼりの設置 自由に遊べうなもの

- ① 親子サイエンス体験 バスボム作り 参加費600円  
用意：背の低い机、おもちゃ、おもちゃ展示ケース  
**おもちゃで呼び込めるように**
- ② 親子占い  
用意：机かテントワゴン、
- ③ 親子ワークショップ ビーズアクセサリー参加費500円  
年長～低学年 ※親と子は別々で作成もしくは子だけ  
用意：背の低い机、

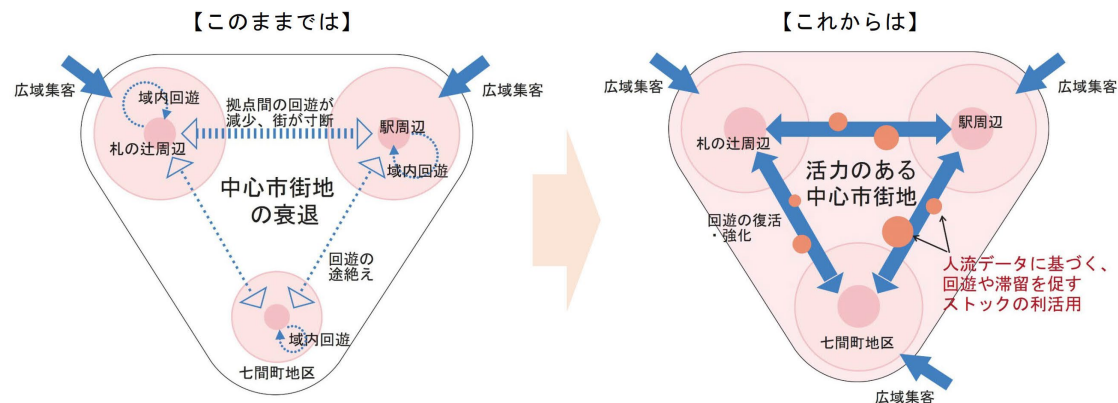


## V これまでの成果・今後の取組

### (2) 「人流データ」の有効性

- タクティカルアーバニズム実践のキーテクノロジーとして、「人流データ」は活用できる。
- 『人流データに基づく適切なストック利活用』を進めることで、静岡中心市街地の空洞化と回遊の減少を改善できる。

- ・ 静岡市では、街中の公共空間で、社会実験を繰り返し、適切な使い方・整備の在り方等を探るタクティカルアーバニズムに取り組んでいる。
- ・ この際、「人流データ」は実験箇所だけでなくその周辺への波及効果や来場者の属性を測ることができ、効果測定ツールとして極めて有効なことが本事業で確認できた。
- ・ このことから、今後も街中の「公共空間を使った社会実験」では人流データ計測を繰り返す、また「まちの変化のタイミング（民間施設のオープン等）」に併せて人流データを取得する等により、取得する人流データの精度向上や使い方の検討等に取り組み、タクティカルアーバニズム実践のキーテクノロジーの一つとして、人流データを活用していきたいと考えている。



## V これまでの成果・今後の取組

### (3) 次年度以降の取組

- ① 今年度調査結果を踏まえ、コンソーシアム等による実証実験を継続
- ② 「人流データ」の活用方策を、継続検討
- ③ 「人流データ」取得・分析・活用の「ビジネスモデル」検討

#### ① 今年度調査結果を踏まえ、コンソーシアム等による実証実験を継続

- Wi-Fiパケットセンサによる人流把握の精度向上およびこれと併せた「人流取得・分析の基本モデル」の精度向上
- ランダム化等の影響を踏まえ、Wi-Fiパケットセンサを補完する人流把握の手法開発
- 社会実験やイベント等とタイミングを合わせることで、都市政策や民活への「人流データ」の反映の在り方を継続検討 等

#### ② 「人流データ」の活用方策を、継続検討

- 人流と不動産との関係を深堀（売上、取り扱う商品・サービス等）
- 人流データを用いた、街の健全度を測る指標の検討
- 別途実施している「しずおかMaaS」との連携による、「人流データ」の取得・活用範囲の拡大
- アイデアソン・ハッカソン・シンポジウム等で、「人流データ」の活用方策を広く募集

#### ③ 「人流データ」取得・分析・活用を、社会実装するため「ビジネスモデル」検討

- 不動産業者等と連携し、「人流データ」の継続取得、公開範囲、活用方法について検討
- マーケティングにも活用できるデータの構築



## ■ 取組主体（コアメンバー）

### ○ I love しずおか協議会

- ・沼田 千晴 会長
- ・西野 誠 事務局長

### ○ 静岡市中心市街地活性化協議会

- ・稲葉 豊穂 中小企業相談所 所長
- ・風間 禎之 中小企業相談所 静岡支所長

### ○ 昭和設計株式会社

- ・飯田 爾雅 都市環境部都市デザイン研究室室長
- ・河口 知弘 都市環境部都市デザイン研究室チーフ

### ○ 法政大学

デザイン工学部 都市環境デザイン工学科

- ・今井 龍一 教授

### ○ 静岡市

- ・堀井 一嗣、亀谷 浩司（道路計画課）
- ・伊熊 未来、佐野 孝祥（都市計画課）
- ・横田 哲也、原田 憲吾（商業労政課）

□ 取組に係るご質問・ご意見などはこちらまで。

mail : [kawaguti-to@shizuoka-showa.co.jp](mailto:kawaguti-to@shizuoka-showa.co.jp)

## □ 取組協力・アドバイザー

### ○ 琉球大学

- ・神谷 大介 工学部 准教授

### ○ 関西大学

- ・山本 雄平 環境都市工学部 助教
- ・姜 文淵 先端科学技術推進機構  
特命准教授

### ○ 摂南大学

- ・塚田 義典 経営学部 准教授

### ○ 大阪電気通信大学

- ・中原 匡哉 総合情報学部 講師

### ○ 法政大学

デザイン工学部 都市環境デザイン工学科

- ・矢野 有希子
- ・野村 圭哉
- ・後藤 悠介
- ・安藤 祐輝
- ・後藤 大河
- ・李 馨蕊